

やすらぎ穴水だより

石川県教育支援センター
「やすらぎ穴水教室」

〒927-0026
石川県鳳珠郡穴水町大町リ78-2
tel / fax (0768)52-2258
E-mail anamio@ishikawa-c.ed.jp



震災から9ヶ月近くたちました。街にはまだ手つかずの建物があちこちに残っていますが、片付けられ整地された場所も見かけるようになりました。

学校では新学期が始まり、校舎やグラウンドから元気な声が聞こえてきます。しかし、中には環境が変わったことで疲れやプレッシャーを感じている児童・生徒がいるかもしれません。そんな時は、立ち止まって少し心や体を休めることも必要です。やすらぎ穴水教室では、児童・生徒の足が学校に向きづらい時に、ささやかな居場所となることができます。相談先の一つとして考えてみてください。

スーパーバイザーより

やすらぎ穴水教室でスーパーバイザーをしている竹林です。1月に能登半島地震があり、周囲も自分もバタバタとしていて、あっという間に9月になってしまいました。震災直後は、ほとんどすべての人が同じように、物理面、心理面共に不安や恐怖を感じていたことと思います。ところが最近では、時間が経つにつれて、物理面や心理面での個人差が生じているように感じています。物理的な面でいえば、住居の状況、経済面、大人であれば仕事が忙しい、あるいは全くない、などがあるように思います。心理的な面でいえば、震災直後はストレス反応（落ち着かない、眠れない、体調不良、不安など）を多くの方が示し、時間が経過するにつれ、消失していった人がほとんどではないかと思っています。ですが、未だにストレス反応が無くならないという人もいるでしょう。物理的な面はわかりやすく目に見えることが多いので、周囲の人も気が付きやすいのではないかと考えています。一方、心理的な面は、周囲が「過去のこと」「もう大丈夫だろう」と割り切っているなか、表しにくいということがあるのではないかと考えています。そうすると、周囲の人とのギャップで苦しくなることもあるかもしれません。

もちろん、前を向いて頑張っていくことは必要で、最後はそれが大切だと思います。ただ、もしかすると周りに、まだそう切り替えられていない人がいるかもしれない、という気持ちも持ってもらえるといいのかなと思います。また、実は未だにストレス反応がある、という人がいたら、我慢せずに相談してほしいなと思います。（スーパーバイザー 竹林 勇祐）

・やすらぎ穴水教室利用状況(のべ相談件数と通室児童生徒)

	来室相談	SC 等訪問相談 (教室外)	電話相談	SC 等相談 (教室内)	合計	通室児童・生徒
7月	0	3	0	0	3	1
8月	0	1	0	0	1	1

・令和6年度9月～12月 やすらぎ穴水教室の相談日

SV 相談会: 9/9 10/21 11/18 12/16 (すべて 13:30～16:30)

SC 相談会: 9/5 9/26 10/3 10/24 11/7 12/5

(9月・11月は 12:30～16:30 10月・12月は 9:30～12:30)

SSW 相談会: 9/11 10/9 11/13 12/11 (すべて 13:00～16:00)

※予定は変更になることがあります



「学校に行けない子どもについて考える保護者の会」について

- ・日時 令和6年10月25日(金) 18:30～20:30頃
- ・会場 やすらぎ穴水教室(穴水町大町リ78-2)
- ・内容 講演「こどもの居場所づくり×クリニック」
講師 小浦 詩 氏(医師・わじまティーンラボ理事長)
懇談会(保護者とSC等との相談会)
- ・参加予定 保護者、スクールカウンセラー等
- ・費用 無料
- ・問合せ・申込み (0768) 52-2258

★保護者のみなさん、お気軽にご参加下さい!